

【23_023技術系メルマガ】自分が取る波の基準を決める

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

昨日の『チキン利食い』をテーマにしたメルマガの中で言及した原因と対策

『結局、決めきれないから迷う』という点に大きな反響がありました。

この点、もう少し掘り下げて欲しいとの声もあったので、昨日の続編的な内容として

『自分が捉える波の基準』を決めることによって、最適な利確目標の基準を作るための一助になる話をしたいと思います。

┌ ■ 順張り / 逆張り の基準

よく、一般的に言われるのが「初心者トレンドフォローすべき」「順張りこそが王道」という表現。

これ、半分ただしいですが、説明不足だなあといつも感じていました。

というのも、その人が捉える時間足の基準が変われば、同じチャートでも「順張り / 逆張り」の認識が変わってしまうからです。

例えば、【H1足はダウントレンド中の調整波で上昇しているなか、M5足はアップトレンドになり始めている状況】を考えてみてください。

H1足の波の上下を捉えるタイプのトレーダーなら、この場面でのロングは「逆張り」になりますが

M5足を執行足にして、短期デイトレで仕掛ける人にとっては(僕とか笑)ここは立派な順張り局面になるわけです。

結局、「順張り/逆張り」や「トレンドフォロー」というのは、観測者のフィルタの賭け方によって

解釈が逆になる事もある『相対的な基準』でしかないのです。

その点を踏まえて、僕らはどう考えるのかというと

他人がどういう会食をしようが『自分の基準ではどうなのか』をハッキリさせないといけないということです。

▼参考ツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1615256759798763520?s=20&t=WsHfVsz-uGwtL_ciXRiW3w

ここにも、短い文章の中に沢山のヒントが納められていますが

これも僕が常に大事にしている『一貫性』と関連しているものです。

自分が何を基準として『目線』を決め、『セットアップに従ったエントリー』を執行するのか(もしくは見送るか)。

簡単に僕の基準を言っておくと

<目線>

- ・D~H4足の空間が十分に空いている(MA・水平線が邪魔していない)
- ・H1/20SMAに対するグランビル(抜けのG1、MA再タッチのG2もしくはG3)

<セットアップ>

- ・M15-M5足の収縮はキレイか?
- ・MAの接触パターンは?
- ・チャートパターンへの分解作業

工程はだいたいこんな感じですが、これを一貫させるために膨大なチャートで検証もしてきたし、何年分も自分が執行する通貨ペアでテストをしてきました。(今もやってます)

自分で『ついて行くべきトレンドに基準をつくる』というのは、言うだけなら簡単ですが

その基準を定めて、実際それを信頼して一貫したエントリーを執行するには、相当量の訓練が必要です。

まして、僕は感覚でトレード出来るタイプではない普通の人()なので

十分な母数から頻度・確率を統計的に数字で見ないと、怖くて自分の型が信頼できません。

だから数字を見なくてははいけないし、数字で自分を納得させているわけです。

これも本当に手間と根気がいる作業なので、軽々しく「これくらいやってください」などとは言えないのですが

そこまでやり切ると、今まで分からない事しか無かったチャートの中に、『自分なりの規則性』が見えるようになります。

そこまで来ると、自分の『型』は利益をもたらす武器に育っているはずです。

甘い言葉に流されることなく、お互い頑張ってください。